

## 摂南大学ペット同行避難訓練（報告）

【日時】 令和元年 11 月 24 日(日) 10 時～12 時

【場所】 摂南大学枚方キャンパス

【主催】 摂南大学 池内教授

【共催】 枚方市（プラットフォーム事業）

【参加】 枚方市民 12 名／ペット(小型犬)8 匹



### 訓練概要

- ◇ 災害発生にともなうペット同行避難がテーマ。
- ◇ 身体計測、段ボールゲージ、障害物歩行の3つのメニューを実施。
- ◇ 第1部、第2部に分けて実施。
- ◇ 参加者はペットの避難生活に必要な知識や意識を学んだ。
- ◇ 摂南大学 池内教授は、研究として検証を行った。

### ①身体の計測



犬が避難生活をする上で必要なスペースを知る目的。  
(池内教授の研究で、有効面積のデータあり。)

- ・食事のための面積
- ・就寝のための面積
- ・トイレのための面積

### ②段ボールゲージ訓練

段ボールをケージとして利用する想定。  
犬が抵抗なく入るための訓練を実施。  
トンネル状にすると怖がる犬が多かったが、  
上部を開放した状態では落ち着いて箱に  
収まる傾向が見られた。



### ③障害物歩行訓練



避難先までの道程に瓦礫の散乱を想定  
して障害物を設置。

障害物をまたぐのを嫌がる犬や、  
大勢の人や、他の犬に気をとられる  
様子も見られた。

### その他

○ 参加者からの疑問

「ペットと一緒に避難できる避難所がどこかわからない。」

○ 池内教授の回答

「避難所の運営主体が地域住民であるため、ペットの受け入れについては、それぞれの地域で決められる。実際には災害が発生した中で決まっていくと思われる。」

「ペットを飼う人と飼っていない人との意見対立は避けられないことを念頭に、まずは自分達ができることを取り組んでみませんか。」

「被災地から離れるというのも一つの考え方。」

○ 危機管理室から補足説明

避難所へ職員派遣はするが、大災害時には職員だけの運営は現実的に困難。

そのため、校区自主防災組織を中心とした住民による避難所運営をしていただく。